

研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当
A-133	12-080	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学
題名 (原題/訳)		
<p>Good choices, great future: an applied theatre prevention program to reduce alcohol-related risky behaviours during Schoolies.</p> <p>劇場型教育プログラムが高校卒業生の飲酒関連リスクを減少させるか</p>		
執筆者		
Quek LH, White A, Low C, Brown J, Dalton N, Dow D, Connor JP		
掲載誌		
Drug Alcohol Rev. 2012 Nov;31(7):897-902		
キーワード		
薬物教育、Schoolies、大量飲酒、短期介入、劇場型予防教育		
要 旨		
<p>目的：</p> <p>高校卒業時のパーティーである“Schoolies”は、他のイベントに比べて若者を過剰飲酒の危険にさらしている。本研究は、劇場型予防プログラム“Choices”が、高校卒業時のパーティー“Schoolies”の飲酒リスク、飲酒に関連した行動を減少させるか検討する。</p> <p>方法：</p> <p>劇場型予防プログラム“Choices”を高校卒業年次を対象にノース・クイーンズランドの28校で行った。2010年11月23-24日のクイーンズランド州WhitsundayのSchooliesの参加者のうち、352名（男性43.1%、平均年齢17.14歳）からアンケートを得た。アンケート回答者の約49%が“Choices”を受講していた。飲酒量、違法薬物の使用、Schooliesの1か月前とSchoolies期間中のこれらに関する行動について調査した。</p> <p>結果：</p> <p>性、Schoolies前の飲酒量を調整した後、Choicesを受講していない者に比べて、Choices受講群では違法薬物使用が少なく(OR=0.51, p<0.05)、不健康な行動が少なかった(OR=0.40, p<0.01)。しかし、Schoolies期間中の危険な飲酒行動に対して介入効果は認められなかった(OR=0.92, p=0.80)。</p> <p>結論：</p> <p>若年者に対象を絞った劇場型予防プログラムは、過剰飲酒が勧められるような祝い事の飲酒に関連する不健康な行動を減少させる効果があるかもしれない。</p>		